

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第4回武蔵村山市立温泉施設在り方検討委員会
開 催 日 時	令和5年8月9日(水) 午後2時～午後4時
開 催 場 所	さくらホール(市民会館)会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席委員：毛谷村委員長、宮本副委員長、栗原委員、内野(正明)委員、 内野(均)委員、井上委員 事務局：協働推進部長、産業観光課長、産業観光課観光係長、産業 観光課観光係主事、コンサルタント会社
議 題	報告事項 (1) 第3回会議の結果について (2) 第3回会議資料の補足について 議題 (1) 民間事業者へのヒアリング結果について (2) その他
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載す る。)	議題 (1) 民間事業者へのヒアリング結果について 民間事業者へのヒアリングの結果、本検討委員会では、案の絞 込みや具体策の提示は困難であるが、継続して検討が必要な事 項、市が検討すべき事項が明らかになった。 これらを踏まえ、次回、今後の施設の在り方に関する提言につ いて検討を進めることを確認した。 (2) その他 第5回検討委員会の開催日時を協議し、改めて事務局側が調整 し、連絡することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は一 つにまとめる。) (発信者) ◎印=委員長 ○印=委員 ●印=事務局	報告事項 (1) 第3回会議の結果について (説明) ● 第3回検討委員会の会議録について報告した。 ◎ 各委員は内容を確認し、訂正がある場合は、8月18日までに事 務局に連絡すること。 (2) 第3回会議資料の補足について 事務局より資料2、資料3に沿って説明。 (質疑) ◎ 資料2のシナリオ別概算結果について、近年の人件費と光熱水費 の高騰を考慮し見直した結果、全体的な経営状況は悪化すると想定 されるが、シナリオ1、2に関しては依然として黒字が見込まれる。 資料3の経済波及効果については、利用者への聴き取り調査結果 より、来館時に立ち寄った場所で使用した金額を元に試算したとい うこと。若干金額が高めの設定とを感じるものの、それでも、一定の 経済波及効果があると考えられる。 また、市民にとって本施設がシビックプライドを醸成する一要素 であり、一つの希望となっていることが分かる。以上のことを加味 し、本施設をどのように生かしていけるかを検討していきたい。 ○ 数値を仮定し試算した結果ではあるが、投資額に対する経済波及 効果は、市の予算額を設定する際の参考になるのではないかと。 ◎ 確かに、コストパフォーマンスの観点から、経済波及効果を評価 し、投資する内容や金額を検討することは重要と考える。

議題

(1) 民間事業者へのヒアリング結果について

事務局より資料4、ヒアリング対象事業者一覧、民間事業者ヒアリングまとめ表等について説明。

(質疑)

- ◎ 前向きな意見もあるが、全体的に厳しい評価である。
- 様々な意見があるが、これらの意見を基にどのような事業形態、施設が良いか検討することは難しい。いずれにしても、事業者が損失を被らないための事業形態、施設を考えるべきである。
- ◎ ヒアリングの結果、事業形態に関しては事業者によって様々な意見があり、委員会として絞り込むことは困難であるといえる。委員会で具体的な事業形態を決定するのではなく、事業者から提案を受け、市の方針とすり合わせを行っていく方法が現実的ではないか。
- ヒアリングでは、各シナリオの概算結果は提示したのか。
- 各シナリオの概算結果は示していないが、第1回の検討委員会で配布した、これまでの収支状況は提示した。
- ヒアリングの中で、20年間で契約している施設など、本施設でも活用できそうな事例が挙げられている。類似施設の事例を調べ、様々な可能性を検討してはどうか。
- 現在、モノレールなど別の検討委員会も進行中だが、目先の5年、10年ではなく、15年、20年先のまち全体の将来像と一緒に考えた方が良い。
- ◎ 市全体の施策・計画の中で、本施設の在り方を検討することが必要ではないか。例えば、「シビックプライドの醸成」や「地域産業の場の創出」等のために本施設が重要だと位置付けるならば、赤字でも維持するべき等、収支の見方も変化してくる。
- 市の長期総合計画や都市計画マスタープラン等の上位計画の中で、本施設は観光交流拠点として必要な施設であると位置付けている。委員会では、この位置付けの中で本施設をどのように生かしていくか検討していただきたい。
- ◎ 本委員会では、従来の運営では経営が難しいこと、新たな運営方法が必要であること等を取りまとめ、今後、別途委員会を立ち上げ、時間をかけて事例の研究や事業者の選定に向けた検討を行ってはどうか。
- 現在、施設は一時閉館しているが、施設の設計、改修も含めると最低2年は閉館することになる。検討期間を延長することは、閉館期間が長くなるということであり、早めに結論を出し、再開を目指していきたい。
- 再開に向けて、市はどの程度費用を負担できるのか。例えば、改修費や運営費等の用途を決めず、市が負担できる費用を提示し、民間業者を公募することは可能か。
- 他自治体では、そのような手法で事業者を募集している事例もある。
- プールや屋外空間などを部分的に再開することは可能か。
- 今までも機械の不具合などで設備を一時停止したこともあった。部分的に稼働することは不可能ではない。
- ◎ プールを休止するだけでも、収支は改善できるのではないか。温泉のみ部分的に再開し、その間に、その他の設備の改修内容を検討することも考えられるのではないか。
- 本市ではモノレール開業に向けて各種検討やまちづくりを進めている。モノレールが開業した際に、本施設が市の観光拠点として有効に機能している状況が望ましい。そうした市の施策や事業進捗

	<p>等も踏まえて、本施設の再開の進め方は検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 本施設は重要な観光拠点ではあるが、本施設以外の文化的な観光資源を発掘することも必要ではないか。 ● 近郊農業を活用した地域ブランド商品、かてうどん、郷土芸能等の資源もあるが、本施設は市外においても認知度が高く、有効に活用したい。 ○ 狭山丘陵の江戸時代の古道や、都立公園の中では最大級の広さである野山北・六道山公園などを生かせると良いのではないか。公園内のプールや田んぼなどで遊んだ後、温泉に入って帰るといった全体の流れをつくることのできる事業者がいれば理想的である。 ○ 市街化調整区域では、どの程度のことか許可されているのか。 ● 市街化調整区域内で建物を建てるためには、東京都多摩建築指導事務所への建築許可の申請が必要となる。また、市街化区域に区域区分を変更することは厳しい。 ○ 近隣施設との連携は、指定管理者にとっても運営上有利である。 ◎ 周辺施設での遊び方や過ごし方も含め、一体でPRできると良いのではないか。周辺施設との連携の重要性は、提言にもまとめた。 <p>事務局より資料5に沿って説明。</p> <p>(質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「3-4」として、民間事業者へのヒアリングの結果、明らかになった事項、市として検討すべき事項を追記し、それを受け「4今後の在り方に関する提言」に繋げる流れとする。存続のためには、市や議会の柔軟な対応が必要であることを示していきたい。 ○ 委員会で改修内容を決定するのではなく、民間事業者に要望を聞くべき。その際、改修費の見積もりも出してもらってはどうか。 ◎ 施設を部分的に再開し、次の5年の間に、改修内容の要望をヒアリングし、予算を算出する形が良いのではないか。予算化するためには、議会の承認が必要となる。提言の中で、上位計画の中での位置付け、役割を明確にした上で、存続のための協力を仰がなければ実現は厳しい。 ○ 隣接する歴史民俗資料館についても、所管課は異なると思うが、できる限り連携できるようなことを考えてもらいたい。 ● 具体的な計画を描くことは難しいかもしれないが、提言として、ぜひ取りまとめてほしい。 <p>(2) その他</p> <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 第5回検討委員会の日程については、改めて事務局側が調整し、連絡する。
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p> <input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 </p> <p>傍聴者： _____ 2人</p> <p> (民間事業者へのヒアリング結果の報告及びこれに基づく協議については、企業のノウハウ等が含まれることから、非公表とし、傍聴人に退席を求めることとした。) </p>
--------------------	---

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	協働推進部 産業観光課(内線：224)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)